

本学学生と保護者の皆様へ
新型コロナウイルス感染症に関する学長メッセージその23

本学学生の皆さん、保護者の皆様、如何お過ごしでしょうか。
今回は学生の皆さんに緊急の重要なお願いがあります。以下にまず要約を示します。

【重要!!】学生・院生の皆さんの行動制限について（1月17日～1月31日）

- ① 学内への入構は原則禁止となります（学科長・専攻長に申請し、許可を得た場合は可能です）
- ② 国外移動は禁止、「緊急事態宣言」および「まん延防止等重点措置」の対象地域への移動も禁止です（その他の地域への移動は強く自粛を求めます）
- ③ 講義は原則メディア授業です（受講が困難な場合は学内で対応します）
- ④ 実習・演習も原則メディア授業です（許可を得た場合は対面式もできます）
- ⑤ 学外実習は原則県内に限ります（②の対象地域以外は可能とします）
- ⑥ 学生相談は原則非対面（メール、電話など）で対応します（相談員の判断で対面が必要な場合は許可します）
- ⑦ 課外活動（学友会、ボランティア、サークル活動等）は原則停止です（オンラインでのミーティングは可能で、アルバイト活動は自粛してください）
- ⑧ 強化クラブの活動は制限します（活動内容は指導者の指示に従ってください）
- ⑨ 図書館・学習支援センターの利用は制限します（来館利用は停止し、書籍の貸し出しは郵送で行い、学修支援センターはオンラインで対応します）
- ⑩ 不要不急のイベント等は延期または中止です（オンラインでは実施できます）

1) 本学でも感染クラスターが発生した可能性が高いです

年明けから成人式の連休直後の1月11日までに、本学では学生4名がPCR検査で陽性と確認されました。幸い、これまでの約2年間に陽性と判明した23名と同様に、濃厚接触者への二次感染は起きませんでした。しかし、1月13日には5名のPCR検査陽性が確認されました。新潟県でもオミクロン株への置き換わりが急速に進んでいた時期であり、オミクロン株の感染力の強さは驚異的で、その潜伏期は3日前後ですので、感染は成人式前後の会食から生じた可能性が高いと推定されました。全国的にも同様の感染事例が多数確認されており、本学も例外ではなかったこととなります。

このため、本学では1月13日に危機管理対策委員会を臨時開催し、1月17日から本学

の行動規制レベルをレベル1から原則として2に引き上げると決定しました。学生諸君の入構は原則禁止となり、授業はすべてオンラインで実施することになります。たまたま1月12日は、荒天予想のため白新線が予定運休しましたので、授業は休講となりました。14日は共通テスト前日のため、学内は閉鎖されていました。15、16日は共通テスト本番の試験場となりましたので、学生の皆さんは入構していません。

しかし、この間も14日には5名、15日には3名、16日には1名の感染が新たに確認されています。さらに発熱やせきなどの症状があり、複数の皆さんがPCR検査の結果を待っています。学生課や各学科でも、聞き取り調査を続けていますが、追跡が間に合わなくなっています。こうした状況から、学内外での諸活動を通じて、学内に感染クラスターが発生している可能性が高いと判断しています。さらに、心配なことに、学生寮でも複数の陽性者が確認されています。当初は寮外のアパートに移動してもらいましたが、外部の個室確保にも限度があり、移動できる場所がなくなっています。

オミクロン株はデルタ株よりも症状が軽いと報告されています。ほとんどのPCR検査陽性者は2回のワクチン接種を受けていましたが、今回感染を防ぐことはできませんでした。それでも現行のワクチンには、感染した人の重症化を防ぐ効果は保たれているとされています。現在、オミクロン株の感染は主に30歳よりも若い世代に広がっています。幸い、今回のPCR検査の陽性者はほとんどが軽度です。しかし、高熱と呼吸困難のため、緊急入院が必要になった場合もあり、油断はできません。

これからリスクの高い高齢者が多数感染した場合、一定の数の重症者が生じてくるでしょう。本学の学生・教職員は90%以上が2回のワクチン接種を済ませてくれています。それでも学内の約500人は接種を受けていません。ワクチン未接種者は感染した場合、重症化のリスクが高いと考えられますので、こうした人たちへの感染リスクを高めるような行動は慎まねばなりません。

2) 重要なお願いがあります

学内でのこれ以上のオミクロン株感染の拡大は、何としても阻止しなければなりません。しかし、現時点で採れる手段は限られています。海外の経験から、3回目のワクチン接種を受けることは重要な対策となりますが、わが国で3回目の接種を受けたのは医療関係者を中心に未だ1%に満たず、先進国で最低レベルです。今からでは間に合いません。また、メルク社が開発したモルヌピラビルという経口薬も、国内での使用が緊急承認されましたが、新潟で自由に使える量は供給されていません。これまでの経験から、オミクロン株を含めて新型コロナウイルスに対してさまざまな武器を持つことができてきたことは確かですが、わが国の、さらに新潟の現状では、これらの恩恵をフルに享受することは叶わないのです。

今私たちにできることは、各自がこの危機的な状況をよく理解し、行動を自制することし

かありません。感染を防ぐために常時マスクをしましょう。マスクを使い回すことは避け、マスクの表面には触れないようにしましょう。エアロゾル感染という空気感染に近い感染経路が主であることから、常に換気を心掛けましょう。オミクロン株の感染力は極めて強く、はしかレベルとされています。同じ部屋で一緒に食事をすれば、感染します。

本学の4年生はこれから資格試験を控え、最も大切な時期を迎えます。共通テストとは異なり、感染者、濃厚接触者に対する配慮を医師国家試験では行わないと通知されました。他の国家試験も同様の対応になるものと思います。ですから、不要不急の外出は控えましょう。この2週間は自室にいきましょう。買い物も最低限の時間で済ませましょう。学生・院生の皆さんが自ら感染しないように、他の人に感染させないように、これまで以上に注意深く行動する他に、有効な対策はないのです。新潟医療福祉大学の学生であるという自覚をもって、行動してくださるようお願いいたします。

2022年1月17日

新潟医療福祉大学学長 西澤 正豊